

巴川流域水害対策計画の進捗状況について

「巴川流域水害対策計画」とは

河川管理者、下水道管理者及び地方公共団体が共同で浸水被害の防止を図るための計画です。

巴川流域では、平成22年3月に策定し、総合的な浸水被害対策に取り組んでいます。

【概ね20年間の目標】

- ・都市洪水：年超過確率1/10降雨（約69mm/h）による洪水を安全に流下させる。
- ・都市浸水：年超過確率1/7降雨（約67mm/h）による浸水被害を防止する。



令和元年度の進捗状況

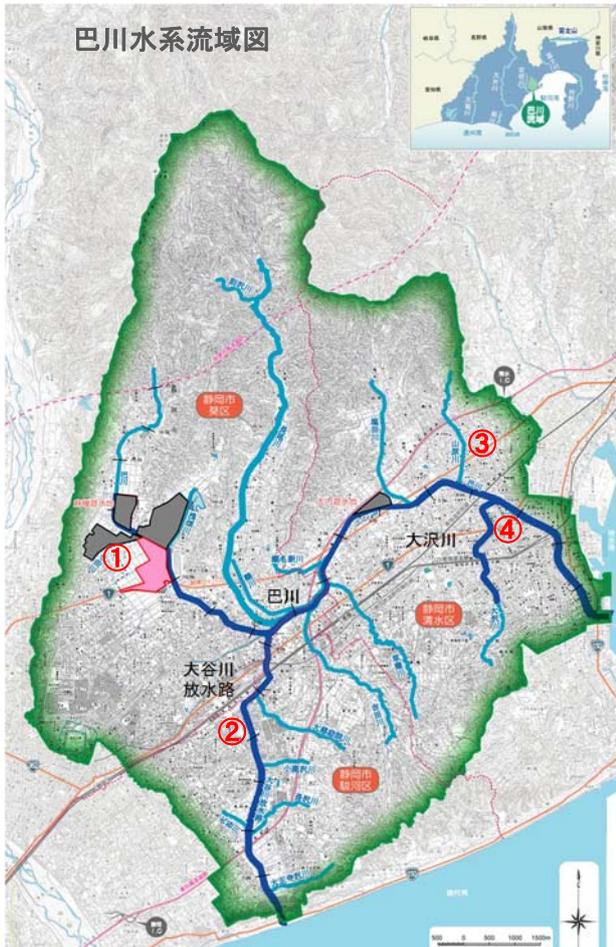
令和元年度は、計画策定から10年目にあたります。

- 河川の整備は、計画に基づき「大谷川放水路の護床工」や「麻機遊水地の掘削工」を進めるなど、概ね順調に進捗しています。
- 下水道の整備は、計画に基づき5地区で「雨水管きよの整備や、山原川左岸排水区でポンプ施設1箇所の整備」を進めるなど、概ね順調に進捗しています。
- その他流域の整備も適切に実施されています。

詳細は「令和元年度 巴川流域水害対策計画によるモニタリング（継続監視）の公表」をご覧ください。

（県HP：<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/tomoegawa/>）

（市HP：https://www.city.shizuoka.lg.jp/268_000048.html）



河川の整備

①麻機遊水地の掘削工



②大谷川放水路の護床工



下水道の整備

③山原川左岸排水区ポンプ整備



ゲート部

④4地区の雨水管きよ整備



入江排水区

その他流域の整備

- ・雨水貯留浸透施設の整備
- ・保全調整池の指定
- ・防災情報の周知など



桜が丘高校

※今後も引き続き各対策の進捗状況を確認しながら、本計画を推進していきます。